

2 学外委員会

1) 委員会および委員一覧

委員会	委員
東海大学短期大学（部）紀要委員会	紀要委員会委員：灰田 宗孝（学長）、飛田 美穂（学長補佐）、櫻井 和好（事務室長） 審査委員会委員：中谷 啓子（准教授） 編集委員会委員：望月 好子（准教授）
現代文明論連絡調整会	秋元 とし子（准教授）
I S O	小川 景子（准教授）、阿部 ケエ子（講師）、石川ひろみ（事務室員）

2) 各委員会活動

(1) 東海大学短期大学（部）紀要委員会

A 位置づけ・役割

東海大学短期大学部、東海大学医療技術短期大学は、協同して紀要発行することとし、紀要の企画、編集及び発行のために、東海大学短期大学（部）紀要委員会、東海大学短期大学（部）紀要審査委員会、東海大学短期大学（部）紀要編集委員会を置く。

B 活動概要

紀要委員会は、紀要の企画、編集及び発行を統括する。第1回紀要委員会を開催し、2008年度紀要第42号発刊に向け、規定、委員会委員、発刊計画について審議した。本委員会の長は、各短大学長の互選とし、東海大学短期大学部福岡校舎委員がその任にあたった。

紀要審査委員会は、紀要委員会からの委嘱を受け、論文審査及び論文掲載の可否に関する判定を審議した。本委員会の長は、審査委員の互選とし、東海大学短期大学部福岡校舎委員がその任にあたった。

編集委員会は、紀要委員会からの委嘱を受け、紀要発行の業務を遂行した。本委員会の長は、各短大編集委員の互選とし、東海大学短期大学部福岡校舎委員がその任にあたった。

2009年3月31日、東海大学医療技術短期大学紀要第42号が発行を発行した。

C 委員会開催状況

委員会	開催日	開催場所	議題
第1回 紀要委員会	6月6日（金）	東海大学代々木部校舎第一会議室	① 東海大学短期大学(部)に関する規程の改定について ② 2008年度紀要委員会委員について ③ 2008年度紀要第42号発刊について ④ その他
第1回 審査委員会	9月20日（土）	東海大学短期大学部高輪校舎会議室	① 審査の基本方針について ② 投稿原稿の状況確認について ③ 投稿原稿の査読者について

			④ 今後のスケジュールについて ⑤ その他
第2回 審査委員会	11月4日(火)	東海大学短期大 学部高輪校舎 会議室	① 査読結果について ② 査読結果通知文書の確認について ③ 査読結果の疑義の申し入れについて ④ 再査読を要する修正論文の提出期限について ⑤ 編集委員会の申し送り事項について ⑥ 来年度紀要に対する改善策または提言について ⑦ その他
第1回 編集委員会	11月4日(火)	東海大学短期大 学部高輪校舎 会議室	① 査読結果状況報告について ② 編集方針(掲載順)について ③ 今後のスケジュールについて ④ その他
第2回 編集委員会	2月7日(土)	東海大学短期大 学部高輪校舎 会議室	① 進行状況報告について ② 編集作業について ③ 次年度申し送り事項について ④ その他

(2) 現代文明論連絡調整会

A 位置づけ・役割

東海大学の法人「現代文明論研究センター」の基本方針に基づき、学園全体で実施する現代文明論を調整する機関である。この会議では、高等教育関係の「現代文明論」を調整し、短大、大学それぞれの学長会議で報告する。法人の教育方針に沿った学園全体の統一性、整合性を維持するための講義計画案や方法論を協議する。

B 活動概要

5月、10月に連絡調整会議に出席し、本学の2008年度の現代文明論実施状況及び2009年度の授業構成について報告した。5月の会議は、代々木校舎で行われ、2008年度から「デンマークに学ぶ(1)(2)(3)」の講義を実施した結果、学生から高い評価が得られていることを報告した。法人からは、今後は、それぞれの学部で教員自ら現代文明論の講義を担当していくことが望ましいとの方針が出された。現在、本学の教員は、2回の講義を担当しているが、他は学園内外から多彩な教授陣を迎えている。今後も専門分野だけでなく、広い視野がもてる講義編成の継続が望ましいと考える。10月の会議は、テレビ会議で行われ、湘南校舎で報告した。法人から、総長自ら講義していた「東海大学-建学の思想とその源流-」は、2009年度から各大学および短大の学長が講義すること、運営組織図(案)について、2009年度から、「現代文明論連絡調整会議」は、「現代文明論教育機関連絡調整会議」と名称を変更し、初等・中等教育機関を含んでの調整となることが説明された。

C 委員会開催状況

回	開催日	開催場所	議 題
1	5月17日(土)	代々木校舎 会議棟 第二会議室	① 2008年度現代文明論実施状況について ② 2009年度現代文明論授業構成と実施方法 について ③ 2010年からの「現代文明論」について
2	10月10日(金)	湘南校舎4号館 3F4-1 会議室(terebi)	① 2008年度現代文明論実施状況について ② 2009年度現代文明論授業編成と実施方 法について ③ 現代文明論」運営組織図(案)について

(3) ISO (International Organization for Standardization : 国際標準化機構)

A 位置づけ・役割

1997年11月に発表された「東海大学環境憲章」の一環として、2003年6月にISO14001の認証を取得した。これを受けて、①省エネルギーの推進、②環境教育の推進、③廃棄物の削減、④化学物質、廃液廃油の適切管理などに取り組んでいる。

B 活動概要

環境教育に関しては、全学生に向けて前・後期のガイダンス時に、「医療廃棄物・化学物質の取り扱い」及びゴミの分別等について説明した。省エネルギーの推進に関しては、月に2回「省エネルギーチェックシート」に基づいて電気・空調・水の使用状況を確認し、必要に応じて協力を依頼した。なお、月末には学科主任へ使用状況の報告をした。化学物質の在庫及び管理状況に関して、毎月末に確認し学科主任に報告した。なお、使用期限の過ぎた薬品は、適宜処分した。